

新潟県

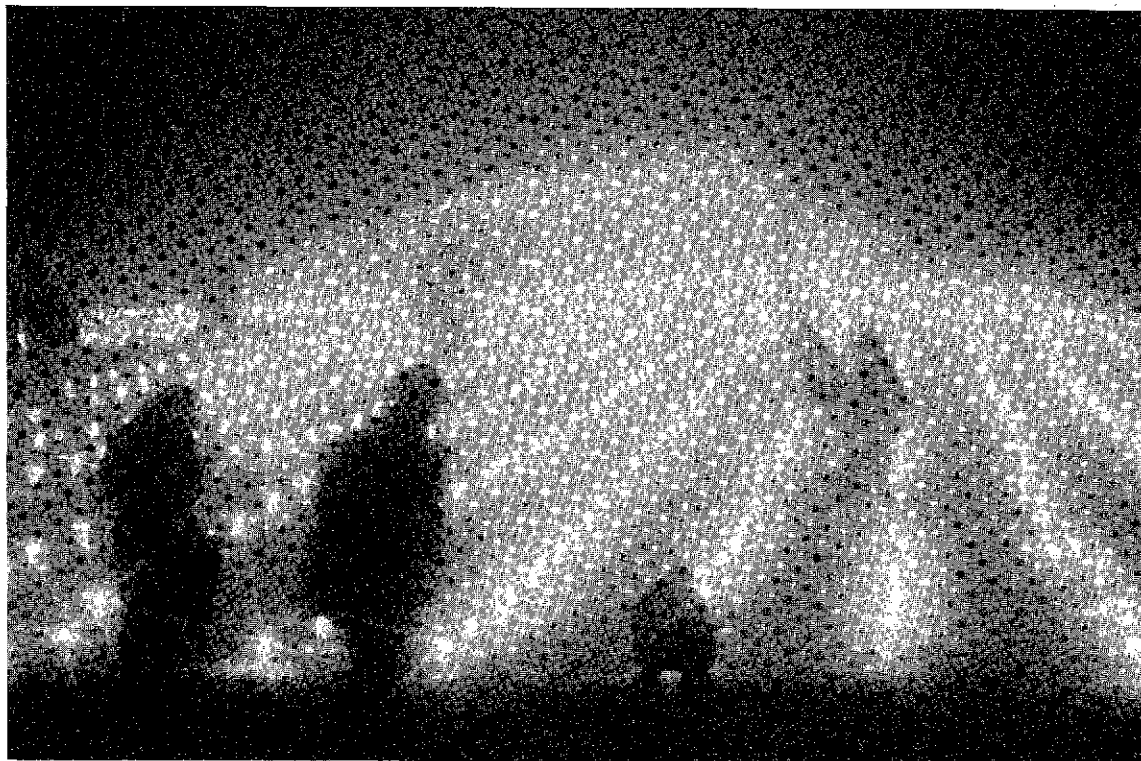
平成5年

# 公民館月報

2月

第480号

## 特集 本県公民館事業の実態分析



Dreams come true...

この街の風に乗り

夢のこぼれ広げよう

あした  
明日をつかまえよう

Dreams come true...

どんなに小さくとも

やがて大き未来

優しさに輝くから

(中里村イメージソング)

夢のこぼれから

幸せのスキーキャンドル

広い雪原に灯る七、五百本のローソク。このローソクの一本一本に村民一人一人の幸せへの願いが込められている。

今年でも回目を迎える「雪原カーニバル」スナック

(写真) 資料提供中魚沼郡中里村公民館)

自己診断票集計まとめ

事業は一生懸命

生活課題の掘り起しはいまいち

昨年十二月に、県内各市町村の連絡等にあたる公民館(中央公民館または中心となる公民館)及び地区館の一部の協力をより「公民館の自己診断」を実施した。その集計結果がまとまったので一部(地区館を除く)を紹介する。(集計は平成4年12月28日現在)

自己診断票の回収は19市71町村の計90市町村(80%)、回収率はまずまずといったところ。表1は、自己診断のジャンル別診断項目について、各公民館が診断した点数を度数で示したものである。(評価点は各項目毎

にいくつかの選択肢があり、その選択肢をいくつ満たしているかによって決まるようになってくる。)一、診断点を合計すると66点(便宜上各項目の最高度数の占める位置を診断得点とすると合計66点(100点満点)となり、辛

〈表1〉五点法診断の度数分布 90市町村

Table with 7 columns (項目, 診断点 5, 4, 3, 2, 1, 無記入) and 3 main sections: 施設設備の概要, 事業の概要, 役職員・行財政の概要.

〈表2〉社会教育費・公民館費の住民一人当たり事業費診断点数(90市町村)

Table with 3 columns (社会教育費, 公民館費, 診断度数) and 2 main sections: 社会教育費, 公民館費.

うじて及第点といえる。しかし、5点が7項目なのに1点が4項目あるというようにバラツキが目立つ。各ジャンル別では次のような特徴が指摘できよう。二、「施設・設備の概要」では集会や学習の施設としての機能は整備されていると言える。特に、明るく快適に利用できる設備面、学習教材等の装備面に工夫をこらすなど、公民館の努力が払われていると見られる。三、「事業の概要」では第一、二、三の構造事業とは「啓発的事業」「学習機会の提供」「自ら学ぶことへの援助」の事業であって、比較的充実しているものの、第四構造の事業(教育的社会還元活動)にあっては、未開拓の部分が多く残っている。四、「役職員・行財政の概要」では職員がきわめて低い評価である。職員体制の整備が重要な課題であるのは、ここでも指摘されている。社会教育費は、住民一人あたり五千円から三千円が圧倒的に多く、公民館費の殆どは百万円以上である。市町村における財政上の公民館への期待の大きさが分かる。(表2参照)集落公民館については別に記す。

### 平成五年度公民館補助予算決定

## 陳情運動に成果

公民館 一四三館 (単年度一三四館) 四三億九、一一〇万円

(平成四年度一四四館) 四五億三、六〇〇万円

大型公民館 六館 五億一、〇〇〇万円

(平成四年度 六館) 三億四、〇〇〇万円

公立生涯学習推進センター一館 三億円

(平成四年度 一館) 三億円

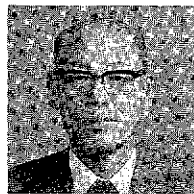
社会教育施設活性化支援事業一、二五か所 一億八、七五〇万円

(平成四年度 九六か所) 一億四、四〇〇万円

社会教育活動総合事業七〇〇か所 六億五、七三〇万円

(平成四年度 六五〇か所) 六億一、〇三五万円

去る平成四年十二月二十七日、年の暮れの大詰になって、平成五年度に向けての公民館施設等の国庫補助額が決定した。不況の波の激しい中で、当初から来年度予算の厳しい査定が予定されていたことから、全国公民館連合会の陳情運動はもとより、これに呼応して、関東甲信越静プロック公連も精力的な陳情運動を展開したことが例年と違ったところである。この運動の功を奏して、ほぼ想定したとおりの結果になった。



## 自治公民館の役割

本間 重蔵

最近、どの市町村でも中央公民館の施設設備が充実し、その陣容も立派になってきた。真に喜ぶべきことである。今後さらに生涯学習、コミュニティ活動の拠点として中央公民館に大きな期待をしたところである。

生涯学習では「いつでも、どこでも、誰でも、何んでも」を基本方針としている。最近、どの集落でも勤め人社会となり、生活も都市化し、かつての隣り組的交流や連帯意識が薄れてきた。一方、高齢者、勤め人、婦人達の中には中央公民館や地区館へ出向くことが体力的、時間的に容易でない者もある。そこで歩いてゆける場所、早朝、夜間でも気軽に集まれる場所、即ち、自治公民館の存在意義が大きくなってきた。

## ひろば

このように自治公民館はまさに生涯学習、コミュニティ活動、街づくり、人づくりの源流とも言える。当市では「生涯学習推進計画」の中で、まず自治会を単位としてその充実を図り、そこに推進員、補助員を配置したいとし、さらに市で自治公民館の新築、増築などに助成金を出している。

これからは中央公民館、地区館と自治公民館が組織化され、互いに連携、補充し合いながら生涯学習、コミュニティ活動や街づくり、人づくりなど展開していくことが大切だと思ふ。その意味で、今後自治公民館の果たす役割をも一度見直したい。

(豊栄市公民館 運営審議会委員長)

## 辛口

地区公民館 足当時から役員となり五年目になります。新興住宅が毎年増え続けていく

## 地区公民館にかかわって

田中 久子

役割を持ちます。旧村が大切に守ってきたものと、新興住宅の新しい風とは、世代や環境を越えた幅広い出合いの中で互に語り合い、理解しあひ、



浸透せず難しさを痛感してききましたが、よう

地域の多様性を生かし、住民の専門知識、趣味、特技、昔ながらの知恵などを提供しあう中で、特に子供の健全育成を考へなければならぬ重要な時期です。社会教育に素人の私ですが地区公民館の重要性を認識していきなす。それだけに中央公民館との太いパイプによる情報の交流や支援が欲しいのです。(横越村川根谷内地区 公民館運営委員)

# 事業の実態分析

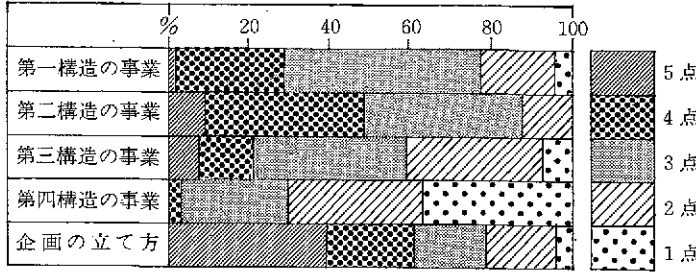
## 集計にみる問題点

一、まえがき

ここに取り上げた「公民館自己診断」の診断項目は、全国公民館連合会第五次専門委員会の答申「生涯教育時代に即応した公民館のあり方」(昭和五十九年三月)における事業の構造化への提言を基本としている。

すなわち、第一構造の事業では、生涯学習推進のための準備段階にあたる事業で、「知らせる、啓発する、問題を提起する」ことを主とした事業である。第二構造の事業では、生涯学習の基礎形成段階の事業で、いわゆる、学級・講座の開設、講演会、行事の主催、相談事業の開設な

〈表1〉 公民館事業の概要自己診断



どがなされる事業である。第三構造の事業では、積極的な学習推進の段階であり、自主グループや団体の育成活動など自ら学ぶものへの援助などの事業である。第四構造の事業では、教育的社会還元活動の段階で、ボランティア活動の推奨や援助、地域活動への援助や助言などの事業についてである。

自己診断票では、これらの四段階構造事業についてそれぞれ10の選択肢を設定し、いくつの

選択肢が我が公民館の活動に該当するかによって評定点が決まる方式で自己評価(診断)したものである。

二、事業の総論

集計結果を表1でみると、第一構造の事業は比較的点数が高い。3点以上の評価が77%でその内4点以上が28%と評価している。これによると、生涯学習のための準備段階の事業は着実に進められていると診断できる

ようである。

第二構造の事業については、3点以上の評価をした公民館が86%、4点以上についても47%と第一構造段階以上に高く評価している。このことから、学級・講座など公民館としての生涯学習のための基礎的な事業は充実していると言えるようである。

第三、第四構造段階の事業においては、必ずしも不振であるとの評価はしていないものの、第一、第二の構造段階に比べる

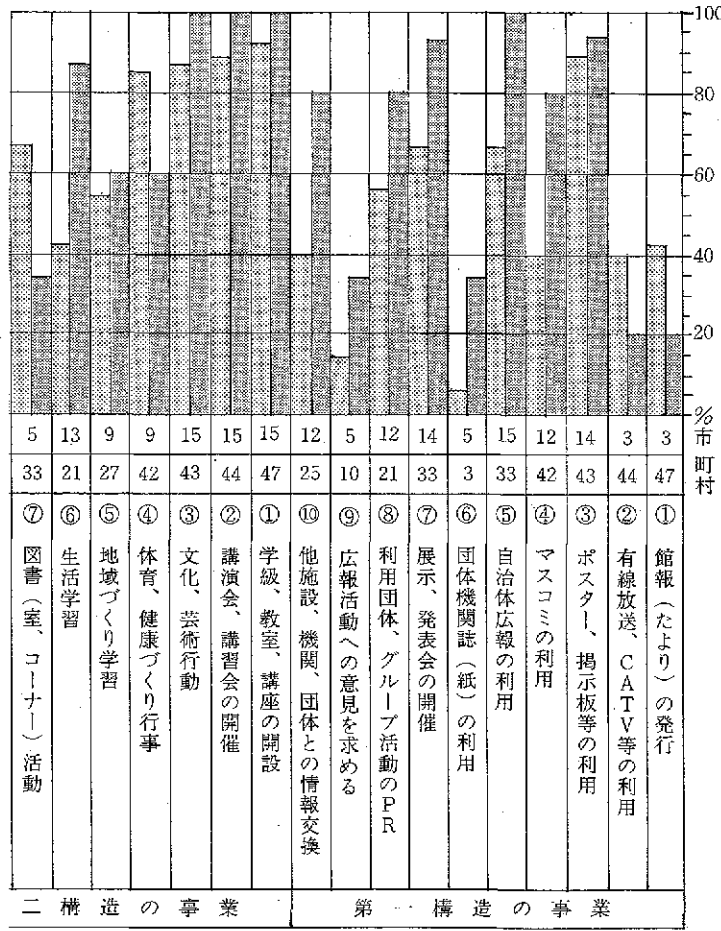
と評価は低くなっている。とりわけ、第四の段階にそれが指摘できるようである。

それにもかかわらず、企画の「たて方」の項目では67%強が4以上の評価をしているのはどのような理由によるものであろうか。各論で検討を加えることにする。

三、事業の各論

1 第一構造の事業

(段中央の市、町村)の数字は実数



# 特集 本県公民館

## ——自己診断票

館報の発行そのものは、市において3館(20%)、町村では47館(42%)であるが、行政広報の利用を加えると100%となり生涯学習推進のための情報提供やPR活動に取り組んでいることが知れる。公民館独自の広報活動が最善であることはいままでもないが、予算、編集スタッフ等の関係から、行政広報を積極的に活用していることを示していると思われる。しかし、「広報活動への意見を求める」姿勢が薄いのはいかなるものであろうか。行政広報への依存の割合が高いので止むを得ないこともあろうが、より住民に親しむ紙面

にすることは、啓発活動や情報提供活動の基本的なものとして一考を要するようと思われる。その他の公民館事業のPRや情報提供活動としての「ポスター、掲示板等の利用」「展示会・発表会の開催」「利用団体・グループ活動のPR」などにも力を入れていくことが分かる。「有線放送、CATVの利用」では、有線放送を整備している市町村では計画的に利用しているが、CATVは未整備のため今後にもつものであろう。

総じて、「準備段階」としての啓発活動は、それぞれの市町村の実情に応じた努力がなされていることが分かる。しかし、市の公民館に比べて町村の事業がどちらかという評価が低いところの問題があるように思われる。これは、生涯学習の推進に対する問題というよりは職員体制に問題があるからであろうと思われるが、更に検討を深めたものである。

### 2 第二構造の事業

公民館の事業のうち、「学級・教室・講座の開設」や「講演会、講習会の開催」「文化、芸術行事の開催」は、学習活動の主役として位置付けられるのは昔も今も変わらない。よって、この診断項目への反応は極めて高いの不思議ではない。

### 公民館事業の構造別把握

市  
町村

〈表2〉

事業内容	市		町村	
	市	町村	市	町村
9	3	12	9	13
25	13	29	34	43
⑥ 地域課題を取り入れて企画をたてる	13	46	8	33
⑤ 住民の実態(意識調査)を行なって企画をたてる	2	11	9	9
④ 運営委員と協議をして企画をたてる	9	23	30	23
③ 学習者の希望(アンケート)により企画	6	2	5	5
② 館内職員で協議して企画する	5	4	5	4
① 前年度の事業を参考に企画をたてる	6	3	6	8
⑩ その他民間活力支援事業	3	6	8	9
⑨ 学校開放(週休一日制に伴う事業推進)	6	8	9	7
⑧ 公民館類似施設の集会や学習への支援	14	33	26	26
⑦ コミュニティ活動(地域づくり活動への参加)	8	9	7	1
⑥ 他の施設(機関)団体との交流共催	33	26	26	10
⑤ 市民活動、広報紙の発刊支援	26	26	10	12
④ 市町村民憲章の具現化(グループの把握)	26	26	10	14
③ 文化活動(リーダー)の向上(研究会)	29	14	33	13
② ボランティア機構の研究(啓発事業)	6	8	9	11
① 社会活動(ボランティア)の開発(交流)	20	29	14	7
⑩ 行政、地域の人材確保と拡大	3	6	8	9
⑨ 文化、体育等指導者育成	6	8	9	7
⑧ 団体(グループ)の利用者会の組織化と交流	6	8	9	7
⑦ 地域共催事業の実施	8	9	7	1
⑥ 趣味学習から社会活動(集団)への支援	9	7	1	12
⑤ 集団(リーダー)育成の支援	9	7	1	14
④ 自立集団の活動、プログラムの研究	7	1	12	13
③ 自主学習への指導(助言)	12	14	13	11
② 教材の貸与、情報提供	14	13	11	7
① 講師、助言者の斡旋、派遣	13	11	7	9
⑩ 他施設、機関、団体との提携	7	9	10	21
⑨ 相談事業	9	21		
⑧ 資料の提供				

企画

のたて方

第四構造の事業

第三構造の事業

第

反面では、「地域づくり学習」や「生活学習」の事業が比較的に少ないところに問題があるように思われる。これは、住民のニーズに應えるにあたり、顕在的な学習ニーズに応じようとするあまり、潜在的なニーズの掘り起こしに手が回らないからではあるまいか。あるいはまた、近年の公民館職員の勤続年数の短期間化傾向によって、潜在的な学習ニーズが見えないことによるものかもしれない。公民館が真に公民館らしくあるためには、地域の生活課題解決にむけての基礎的な学習活動を展開する必要や、ひいては、地域づくりのための学習活動がますます重要になっていくことから、このための事業の在り方は今後の課題である。

「図書(室、コーナー)活動」が少ない。特に市の公民館が少ないのは、独立図書館の設置によるものであろうか。独立図書館の設置とは別に、公民館でも個人学習の場として図書利用のためのサービスは必要である。「資料提供」の活発化とともに今後の課題と言えよう。

また、公民館における「相談事業」の重要性が指摘される今日の状況のなかで、その取り組みについて真剣に考えてみる必要がある。

### 3 第三構造の事業

この段階では「講師、助言者の斡旋、派遣」「教材の貸与、情報提供」「自主学習への指導助言」に関しての自己評価は高いものの、その他の評価項目は比較的低位にある。「趣味の学習から社会活動集団への支援」や「地域共催事業の実施」あるいは「地域の人材確保」などに関する事業については今後一層充実に努める必要がある分野である。特に、「団体・グループの利用者会の組織化や交流」の事業や「自立集団の活動への関わりや、プログラムの研究」などについての事業にも積極的に取り組む必要があるのではあるまいか。というのは、それは単に社会還元活動に発展する必要があり、というだけではない、生活の学習をするという事は生活に生きて働かねばならないものだからである。

### 4 第四構造の事業

社会的還元活動を求める段階については、最も診断評価の低い部分である。「コミュニティ活動、地域づくりの活動への参加」のすすめや「他の施設機関団体との交流や共催事業」は第三構造の事業の発展的なものである。「週休二日制への対応」は今後の問題としてしばらく措くとして、「公民館類似施設の集いや

## 四、集落公民館の概要

自己診断票の記入に依りてもらった90市町村の公民館が、そのフェイスシートにおいて「集落公民館の概要」に関する実態調査を記入した公民館(把握数として表現した)は市の5館、町村34館の合計39館に過ぎなかった。(表3参照)

これは、いわゆる公民館としての活動をしているものの、その施設や機関の名称がコミュニティセンターであったり、町内自治会自身であるとか、集会所の事業であるとして集落公民館と一線を画して取り上げなかったところ、また、集落公民館の活動は認識し、多少の関わりを持ちながらも、民間団体の活動であるとして、調査票に記入しなかったところもあるようである。

学習への支援」が想像以上に低い診断だったことに驚く。今後の集落公民館の大きな問題にする必要がある。また、「社会活動ボランティアの開発交流」「ボランティア機構の研究啓発事業」への取り組みが極めて低いところも問題である。

もう一つの問題提起は、「市町村民憲章の具現化のためのグループの把握」に関する事業への取り組みが極めて低いことである。いうまでもないことながら、公民館が事業を立案するに当たって、(生涯)教育目標、社会教育目標の達成を目指すものであって、その大前提となるのが市町村民憲章の具現化にあるのであるから、この点についての問題解決は極めて重要な課題となろう。

〈表3〉

	回答数	把握数	集落公民館数
市	19	5	203
町村	71	34	853
計	90	39	1056

ある。その当否は別として、人づくり、地域づくりの最先端で活動するのが集落公民館である。他県では公立公民館より集落公民館(自治公民館)にウェイトをかけているところもあるほどである。本県においても集落公民館の活躍に期待を寄せたいものである。

## 集落公民館の概要

(回答数とは、フェイスシート提出公民館数、把握数とは、上記公民館で1項目でも記入してある公民館数)

施設の有無			委嘱の方法			事業の委嘱			研修への参加			町費の助成		
有	無	無記入	区長兼任	館長独立	無記入	有	無	無記入	有	無	無記入	有	無	無記入
193	10	0	29	88	86	0	203	0	11	192	0	87	116	0
710	28	115	355	368	130	62	655	136	428	292	133	473	380	0
903	38	115	384	456	216	62	858	136	439	484	133	560	496	0

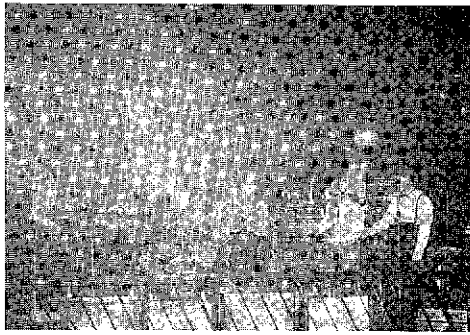


# サークル交流

## お父さんの昔話

### 音戯の国プロジェクト

何？ お父さんの若い頃の話？  
よし、話してやろう。あれは平成二年だったかな。その頃はお父さんももう少し髪の毛があったんだぞ。「音戯の国プロジェクト」っていうサークルを作ったんだ。なんだか六日町が面白くなってなあ。若いヤツらがやりたいことも見つからずにとだなんとなく暮らしているって感じで……。それじゃいつちよう俺がやってやるなんて、熱血青年だったんだな、お父さ



んは。

最初にやったのが「六日町イマジナルキャンペーン」だ。ちょうど冬の国体があったこともあって、テレビや新聞にもいっぱい出たんだぞ。すごいだろ。アイドルのうちの一人がプロの歌手になったのにはお父さんも驚いたな。

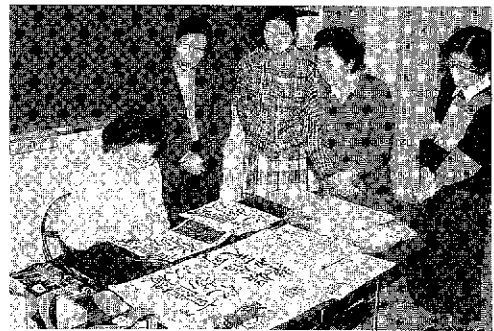
六日町で初めてっていう画期的なパーティもやったぞ。一五〇人も集まって大盛況だった。この町も捨てたもんじゃないと思ったよ。あれから十年、やっぱり良い町になったな。あれ、なんだ眠っちゃまったのか。  
(六日町公民館 樋口尚人記)

## ひたすらな向上心

### 書道サークル「緑友会」

新潟市の関屋地区公民館が改築竣工して以来の「書道サークル」。だからすでに三年は経過している。

その名は、講師の緑水先生にあやかっけて緑友会という。会員は二十名。小学三年生から古希に手の届くまでと多彩。ただ黒三点というのが少々淋しい。女性パワーの強さを感じさせるの



は当世ふうというところか。

講師の緑水先生は、サークル創設以来の指導者である。容姿端麗に似合わず指導は厳しく、てきぱきとした言動で指導なさる。その反面に優しさがあるのは言うまでもない。その人柄を慕って集まっている会員だから、和やかさもまたこの上なしというところ。

半径数百メートルの近隣の人たちばかりなのに、面識も交流もなかった人たちである。それだけに、週一回の夜の教室を待遠しく感じながら集まってくる。今日も和気あいあいの雰囲気の中にひたすら向上を目指して肅々と書道芸術に取り組んでいる。(関屋地区公民館 サークル七十の手習い生記)

## 燕市中央公民館主任

### 今井徳子さん(？歳)

商工課から公民館(社会教育課)に転任したが、昨年四月一日、早いものでもう一年を経過しようとしている。

担当は庶務係で、毎日、訪れる来館者、利用者の応対に努めるかたわら、幅広い仕事を精力的に処理。すっかり社会教育活動も板についたようだ。



行政職員としての経験豊富なものの、公民館は全くの

一年生。待ち前の明朗快活さと溢れる積極さとして、戸惑いなどおくびにも見せない。

新職場に就くや、早速、謡曲のサークルに入って活動を始めて、公民館主催の着物着付教室で参加者との交流を図ったりなどして、公民館活動にいち早く溶け込む努力も積んでいる。

登山や茶道、水泳にと活動力旺盛な彼女は、生涯学習を進めるまにあって、頼もしい存在であるとともに「粘りのある仕事を」と張り切っている。  
(燕市公民館 清滝 茂記)

## 素顔拝見

### 分水町公民館

### 川本裕之氏(22歳)

今年度新採用になった。スポーツ刈りで、目がちょっと細くやさしそうな万人に好かれるタイプである。

担当は青少年教育、特に子ども会育成、そのかたわら図書を担当でもある。すべて初めての経験なので不安な日々もあったらしいが、いろんな研修会等にも積極的に参加、乗り切ってきた。

「最近になって「川本さんいますか」という電話がかかってくるようになった。館内で一番若いだけになんから「ひろちゃ



ん」の愛称で呼ばれ親しまれている。もちろん花々の独身。趣味はスポーツ万能で、特に好きなのは中学時代から続けているバレーボールで現在も現役。

又、子供達に好かれるタイプで、利用団体のクリスマスにはサンタ役をこなす大変よろこばれた。これからは、地域指導者育成事業に取り組みたいと意欲的で、将来が楽しみである。  
(分水町公民館長 小越益雄記)

# 手づくりの展覧会

## 新潟市公民館合同美術展開催される



正月のお屠蘇気分もまだ覚めやらぬ1月5日、デパートの新春恒例美術展に対抗(?)して「第2回新潟市公民館合同美術展」が新潟市教育長を迎えてにぎにぎしくオープンした。会場は美術愛好家あこがれの、市美術館。

この展覧会は、市内の公民館で活動を続ける美術関係サークルが、会員相互の交流と親睦を深めよう、もっと仲間を増やそう、市展・県展への意欲を高めようとの目的をもって、昨年から開催された。

実行委員の方たちの努力の成果が実って、観覧者数は昨年を大幅に上回り二千七百人。

参加公民館は市内十館中八館、出品数は62グループ591点。出品料は1点千円で、企画から運営まですべてを合同美術展実行委員会(委員長 服部欣一氏)が賄う。まさに市民の

「来年は全公民館から出品してほしいものだ」とは6日間の会期を終え、ホッとした表情の早川久一実行副委員長。何とバイタリアティーあふれる人達か。



心はずでに次回の準備へと活動を開始している。

# まちからむらから

市町村の隠れた名所 紹介のコーナーです。

## 「下田村の巻」

### 漢学の里

#### 諸橋轍次記念館へどうぞ

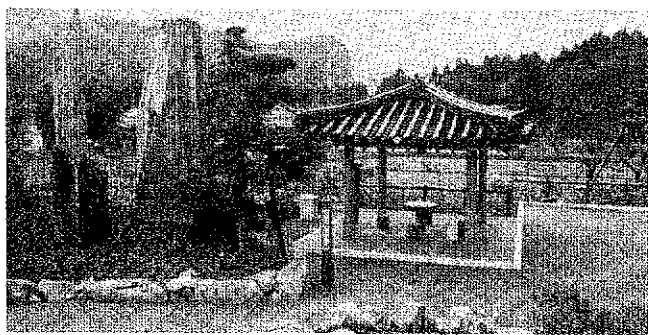
そそり立つ八木ヶ鼻、五十嵐川、粟ヶ岳が眺められる絶景の地下田村大字庭月——ここで漢学界の最高峰を極めた大漢和辞典の編者諸橋轍次博士が誕生された。

この生家を含む一帯約一・八ヘクタールに、下田村が思いをこらした「漢学の里」を竣工、昨年紅葉の季節にオープンした。

三条市から車で約四〇分五十嵐川をさかのぼると、右手にある大きな看板に案内される。

八木ヶ鼻の岸壁の色を基調にした重厚なレンガ造りの記念館内の遺品・遺作・関連資料等豊富な展示室、映写室、研修室、多目的ホール、図書室、眺めのきく和室——漢和に因んで粋をこらした庭園、そして生家へと心静かにゆったりご覧いただくには、ゆりに二、三時間は欲しい。

新潟市中央公民館 田村 富美子記



漢和に因んで粋をこらした庭園

## あとがき

◆公民館自己診断票の集計を特集として紹介しました。紙面の都合で「事業の概要」の部分のみを詳細掲載しましたが、感想はいかがですか。

◆むろん、実態調査ではないので、統計的手法での分析はできませんが一般的な傾向は把握できると思います。各公民館の診断票と比べてみると興味深いものがあると思います。

◆他の集計結果も更に分析したいと考えています。また、数年後にもう一度同じ調査をし、比較検討を加えたらより一層興味深い結果を得られると思います。

その意味から、まだ未提出の公民館は、至急回答してください。二月十日現在で15町村が未提出のままです。(上村記)

発行所 新潟県公民館連合会  
【新潟市川端町2-9・県林業会館内】  
【電話・新潟(025)224-6073】  
発行人 会長 細川正博  
編集人 事務局長 上村捨二郎  
【定価1部130円 年共・年極1,560円】